



メイジテクノ株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 石口 孝貴

SDGsの達成に向けた取り組み

50年以上磨き上げてきた技術開発力で社会貢献を続けていく

- 当社は1964年に顕微鏡の製造を開始し、1975年にはMEIJITECHNOブランドを立ち上げ、独自の製品で顕微鏡の世界に新しい価値を生み出し、製品を通じて工業や医学、教育をはじめとした様々な業界に貢献してきました。今後も、顕微鏡を必要とするお客様のますます多様化するニーズに、豊富な知識に基づくソリューションと高品質な製品で応えていきます。
- また、全社一丸となってお客様へのアフターサービスに取り組み、専門性を持った技術サポートにより柔軟かつ迅速なアフターサービスを提供していきます。



皆が働きがいがあり、スキルアップできる職場を目指す

- 光学製品製造に関する知識やスキルを、次世代である中堅や若手に承継していきます。そのため、地域の若者を積極的に採用し、技術者として育成していきます。
- 具体的には、組立手順書の作成件数を増加させ、きめ細やかな若手への教育を行っていきます。
- また、誰もが安心して働ける制度や職場環境をつくり、女性や高齢者も積極的に採用していきます。



【指標】

光学製品製造に関する知識やスキルに関する「手順書」の作成数 ⇒ 2030年 累計50件
 地域からの若者や女性・高齢者の採用数 ⇒ 2030年 累計10名

健康経営や働き方改革により、更にやりがいのある職場を実現する

- 従業員の健康の維持増進や工場の職場環境改善に努めていきます。具体的には、残業時間ゼロを継続していくほか、本社工場への設備投資を継続的に行い、職場環境の改善を行っていきます。
- また、お互いにコミュニケーションのしやすい職場づくりを行っていくと共に、福利厚生制度の充実化や、社内レクリエーションの推進を図っていきます。
- 人事評価制度の継続的な見直しにより、従業員のモチベーションUPを図っていきます。



廃棄物や温室効果ガス低減に向けた環境経営を目指します

- 設計段階から省エネ製品の開発を心掛けると共に、共有可能部品の採用や部品のリサイクル等にも取り組んでいきます。
- 社内のペーパーレス化（電子化、業務タブレット導入、他）を進めていくほか、取扱説明書等のPDF化や動画化を検討していきます。
- 梱包関連資材の素材変更や改善見直しを継続的に行い、梱包材料の削減を図っていきます。



【指標】 2023年 コピー用紙の購入枚数 80,000枚 ⇒ 2030年 64,000枚 (▲20%)

『ヒトのこと 社会のことを想い』地域に貢献していく

- 教育に携わる企業として、地域の子どもたちや顕微鏡に関心のある方々の職場体験や工場見学を受け入れていくと共に、学校等に出張するワークショップも実施していきます。
- 今後も取引先やパートナーとの連携を高めることで業界の発展や地域貢献を行っていきます。



【指標】 2023年 工場見学やワークショップの開催回数 7回/年 ⇒ 2030年 12回/年 (+5回)